

平成 26 年度第 1 回 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会

日時：平成 26 年 7 月 17 日（木）午前 10 時～12 時
場所：横浜市庁舎 5 階 関係機関執務室

■ 次 第 ■

1 開 会 10:00～

- (1) 健康福祉局長あいさつ
- (2) 委員会概要説明
- (3) 委員自己紹介
- (4) 事務局、オブザーバー自己紹介

2 議 事 10:40～

- 【議題 1】 委員長の選出について
- 【議題 2】 職務代理者の指名について
- 【議事 3】 第 3 期市計画評価について <資料 1-1～1-3、参考資料>
- 【議事 4】 今後の委員会の取組について <市計画冊子、概要版>

3 報 告 11:25～

- 【報告 1】 市計画推進における平成 26 年度の取組について <資料 2-1～2-3>
- 【報告 2】 第 3 期区計画策定の状況について <資料 3、4>

4 閉 会 11:55～

市社協事務局長あいさつ

<委員会配付資料一覧>

- 平成 26 年度第 1 回横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 次第
 - 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 委員名簿、事務局名簿 ※
 - 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会 運営要綱 ※
 - 第 3 期横浜市地域福祉保健計画 冊子・概要版 ※
 - 第 3 期横浜市地域福祉保健計画の評価について <資料 1-1>
 - 評価手順③説明資料 <資料 1-2>
 - 各取組の評価尺度一覧 <資料 1-3>
 - 評価手順①・②補足資料 <参考資料>
 - 平成 26 年度 第 3 期市地域福祉保健計画 関連事業取組スケジュール <資料 2-1>
 - 第 3 期横浜市地域福祉保健計画の推進に向けて <資料 2-2>
 - 第 3 期横浜市地域福祉保健計画 策定報告実施団体等一覧 <資料 2-3>
 - 地域福祉保健計画に関連する各区の状況 <資料 3>※
 - 第 3 期区地域福祉保健計画策定スケジュール（26・27 年度） <資料 4>※
- ※当日配付資料

第3期横浜市地域福祉保健計画の評価について

(1) 評価の流れについて

- 第3期横浜市地域福祉保健計画の評価は、計画推進の中間年度である平成28年度に中間評価(平成27年度末 データ収集)を行い、最終年度の平成30年度には計画期間全体を通しての推進状況について最終評価(平成29年度末 データ収集)を行い、結果を公表します。
- 中間評価においては市計画期間後半の取組の推進方針に反映させ、最終評価では第4期の計画策定に生かしていくものとします。
- 第2期計画の評価と同様に量及び質の両面から、地域課題解決に向けた市・区・地域の取組及び、地域づくりを進めるための市域の施策や事業、市民や企業等が主体的に進めている活動等について、総合的に評価を行います。
- 市計画の中間評価及び最終評価は、市計画策定・推進委員会にて検討し確定します。

(2) 取組状況を確認するための3つの視点

- A 支援策の充実を評価する視点(タスクゴール)**
計画に位置づけた支援策はどの程度行われたか
対象者の生活の質の向上につながる取組や仕組みができたか
課題解決に向けた取組はどの程度達成されたか
- B 住民参画のプロセスを評価する視点(プロセスゴール)**
計画策定・推進において住民・地域が主体的に取り組めたか
住民・地域が主体的に取り組むための働きかけができたか
- C 関係機関・民間企業等との連携についての視点(パートナーシップゴール)**
関係機関・民間企業・市民活動団体等と公的機関が協働して取り組めたか

(3) 評価の手順

手順1

各取組のA~Cの視点ごとに量的・質的データについて「計画期間で<26~30年度>で目指す姿」を踏まえて、各取組を測れる尺度を設定します。

取組内容	視点	尺度
地域別計画策定・推進の状況	進捗	【区】20%【20地区】
	進捗	【区】20%【20地区】
	進捗	【区】10回
	進捗	【区】400回
地域別計画策定・推進の状況	進捗	【区】10回
	進捗	【区】400回
	進捗	【区】10回
	進捗	【区】400回
地域別計画策定・推進の状況	進捗	【区】10回
	進捗	【区】400回
	進捗	【区】10回
	進捗	【区】400回
地域別計画策定・推進の状況	進捗	【区】10回
	進捗	【区】400回
	進捗	【区】10回
	進捗	【区】400回

各取組の推進状況について、尺度に基づき確認します。

手順2

各柱の推進状況を確認するため、重点取組ごとに定めている「計画期間で<26~30年度>で目指す姿」を踏まえて、各取組を測れる尺度を設定します。

視点	評価項目	尺度	内容	柱1の推進状況
A 支援策の充実を評価する視点	進捗	【区】20%【20地区】	地域別計画策定・推進の状況	進捗
	進捗	【区】20%【20地区】	地域別計画策定・推進の状況	進捗
	進捗	【区】10回	地域別計画策定・推進の状況	進捗
B 地域主体形成のプロセスを評価する視点	進捗	【区】10回	地域別計画策定・推進の状況	進捗
	進捗	【区】400回	地域別計画策定・推進の状況	進捗
	進捗	【区】10回	地域別計画策定・推進の状況	進捗
C システムの改善・進化を評価する視点	進捗	【区】10回	地域別計画策定・推進の状況	進捗
	進捗	【区】400回	地域別計画策定・推進の状況	進捗
	進捗	【区】10回	地域別計画策定・推進の状況	進捗

手順1の表で、各取組ごとに設定したA~Cの視点の尺度を、A~Cの視点ごとに整理し確認をします。

A~Cの視点ごとの成果、課題を踏まえて、柱の推進状況のまとめと課題について記載し、柱の推進状況を確認します。

手順3

評価しやすいように、総合目標の趣旨をわかりやすく表現した状態像として整理しておきます。

総合目標	①人と人とのつながりを地域資源の一つとして積み重ねていく地域の発展	②自治・共助・公助を組み合わせた仕組みによる誰もが豊かで安心できる生活できる地域づくり	③幅広い市民参加を促した地域社会全体の活力向上
総合目標を達成した姿(案)	①-1 高齢やお互い支えあえる関係性で成り立つ状況が増えている ①-2 地域での生活課題の解決に役立つ関係性が増えている ①-3 地域を盛り、自らつなぐという意欲のある人が増えている	②-1 自治・共助・公助を組み合わせた仕組みが増えている ②-2 支障が必要な人の関係性を地域資源として見える取組が増えている ②-3 支障が必要な人の関係性を地域資源として見える取組が増えている	③-1 地域への参画の機会を増やした取組が増えている ③-2 自分自身の参画によって地域のために活躍できる機会が増えている ③-3 参加する人の達成感を促した取組が増えている
「総合目標を達成した姿(案)」の現状を客観的に把握するための「参考データ(案)」	①-1 高齢やお互い支えあえる関係性で成り立つ状況が増えている ①-2 地域での生活課題の解決に役立つ関係性が増えている ①-3 地域を盛り、自らつなぐという意欲のある人が増えている	②-1 自治・共助・公助を組み合わせた仕組みが増えている ②-2 支障が必要な人の関係性を地域資源として見える取組が増えている ②-3 支障が必要な人の関係性を地域資源として見える取組が増えている	③-1 地域への参画の機会を増やした取組が増えている ③-2 自分自身の参画によって地域のために活躍できる機会が増えている ③-3 参加する人の達成感を促した取組が増えている

「参考データ(案)」と、手順②による推進の柱1~3のまとめ・課題等を踏まえて、「成果」「今後へと引き継がれる課題」を検討します。

総合目標に対する評価のうち、主な「成果」を集約します。

「達成状況」を記載します。

中間評価では今後の課題、最終評価では次期計画への課題を抽出します。

評価の視点	柱1			柱2			柱3		
	充実している	変わらない	十分でない	充実している	変わらない	十分でない	充実している	変わらない	十分でない
A 支援策の充実を評価する視点	○			○			○		
B 地域主体形成のプロセスを評価する視点	○			○			○		
C システムの改善・進化を評価する視点	○			○			○		

《手順③》それぞれの推進の柱ごとの取組の成果が、第3期横浜市地域福祉保健計画の3つの総合目標に対して、どれだけ寄与したのかを考察する。

資料1-2

総合目標	①人と人とのつながりを地域資源の一つとして積み重ねていく意義の浸透	②自助・共助・公助の組み合わせによる誰もが健やかで安心して生活できる地域づくり	③幅広い市民参加を重視した地域社会全体の活力向上
総合目標に近づいた姿(案)	①-1 地域の中でつながりを持つことの重要性を理解する人が増えている	②-1 自助・共助・公助を組み合わせた仕組みが増えている ②-2 心配事や、困ったときに相談する相手・機関を知っている ②-3 支援が必要な人の課題を地域課題として捉え、解決に向けて取り組む活動が増えている ②-4 地域の生活課題の解決に役立つ共助の取組が増えている	③-1 地域への愛着を育てることを目指した取組が増えている ③-2 自分の得意なことで地域のために活動できる機会が増えている ③-3 参加する人の達成感を重視した地域福祉保健活動が増えている ③-4 多世代の人が参加し、継続性を重視した地域福祉保健活動が増えている

(1) 評価しやすいように、総合目標の趣旨をわかりやすく表現した状態像として整理しておきます。

(2) 「総合目標を達成した姿(案)」の現状を客観的に把握するための「参考データ(案)」に基づいて現状把握を行います。

「総合目標に近づいた姿(案)」の現状を客観的に把握するための参考データ(案)	①-1 地域の中でつながりを持つことの重要性を理解する人が増えている ■手順②の中から、B(プロセスゴール)、C(タスクゴール)に着目し、人と人との信頼感、お互いさまの関係性ができたからこそと考えられる内容を確認する。 ■地域社会のつながりの状況を確認する各種調査結果(横浜市民意識調査、横浜市健康に関する市民意識調査、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための各種調査、国民健康・栄養調査(厚生労働省)など)	②-1 自助・共助・公助を組み合わせた仕組みが増えている ■柱2に関する市及び市社協の主な施策・事業(市計画p128~)等について、自助・共助・公助を組み合わせた仕組みを構築し、稼働させているものを3つの推進の柱の取組状況の把握(手順①)の中から確認する。 ②-2 心配事や、困ったときに相談する相手・機関を知っている ■横浜市民意識調査結果「心配ごとや困っていること」(市計画p17参照)(心配ごとはない14.3%:H25) ②-3 支援が必要な人の課題を地域課題として捉え、解決に向けて取り組む活動が増えている ■柱2-2-2(市計画p72~)に位置づけた地域ケア会議、身近な地域でのつながり・支えあい活動、地域自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会等から、個別課題を地域課題として捉えることによる新たな取組が生まれているかを確認する。 ②-4 地域の生活課題の解決に役立つ共助の取組が増えている ■柱1-1-1(市計画p52~)の取組状況の把握(手順①)等から、地区別計画の取組により、地域の生活課題の解決につながっていることが顕著な事例を確認する。	③-1 地域への愛着を育てることを目指した取組が増えている ③-2 自分の得意なことで地域のために活動できる機会が増えている ③-3 参加する人の達成感を重視した地域福祉保健活動が増えている ③-4 多世代の人が参加し、継続性を重視した地域福祉保健活動が増えている ■3つの推進の柱の取組状況の把握(手順①)の中から、上記の視点で取り組まれた事例を確認する。
	市民の主観的健康観が向上している(共通指標) ■横浜市 健康に関する市民意識調査結果「主観的健康観」(良いと思っている人82.7%:H25)。		

総合目標	総合目標①	総合目標②	総合目標③
評価時に活用するデータ	総合目標に近づいた姿を客観的に把握するための参考データ 手順②でまとめた推進の柱1~3のまとめ・課題	総合目標に近づいた姿を客観的に把握するための参考データ 手順②でまとめた推進の柱1~3のまとめ・課題	総合目標に近づいた姿を客観的に把握するための参考データ 手順②でまとめた推進の柱1~3のまとめ・課題

	総合目標①の評価	総合目標②の評価	総合目標③の評価
成果	○効果が表れていることを中心に成果をとりまとめます。	(3) 総合目標に対する評価のうち、主な成果を集約します。	
今後(次期計画)へと引き継がれる課題	○更に力を入れて推進する必要があること、取組内容や目標を見直す必要があることについて、今後の課題を整理します。	(4) 中間評価では今後の課題、最終評価では次期計画への課題を抽出します。	
達成状況(案)	効果が表れている 更に力を入れて推進する必要がある 取組内容や目標を見直す必要がある	効果が表れている 更に力を入れて推進する必要がある 取組内容や目標を見直す必要がある	効果が表れている 更に力を入れて推進する必要がある 取組内容や目標を見直す必要がある

各取組の評価尺度一覧(柱1)

資料1 - 3

<評価の視点> A: 支援策の充実を評価する視点 B: 住民参画のプロセスを評価する視点 C: 関係機関・民間企業等との連携についての視点

取組内容		No	尺度		データの 出典	評価 の視 点	
計画期間で<26～30 年度>で目指す姿			量/質/参考 値	尺度名称			
<p>各区の創意工夫による区計画策定・推進のこれまでの実践を踏まえ、地域支援のあり方が整理され、より充実した取組が行われている。</p> <p>地域主体の取組の立ち上げ・維持・発展とそれらのネットワーク化を図る仕組みにより、地域課題が徐々に解決されている。</p>	1-1-1	区役所・区社協・地域ケアプラザによる地域支援の体制づくりと支援目標の明確化	1	量的	地区別計画策定・推進組織の設置率	[区]福祉保健課	B
			2	質的	地区別支援チームとして効果的に地区を支援した事例	[区]福祉保健課	A
			3	量的	地域福祉のネットワーク構築数	[局]地域ケアプラザ事業実績報告書 様式6	A
			4	質的	地区別計画の取組により、地域の生活課題の解決につながっていることが顕著な事例	[区]福祉保健課	A
			5	質的	地区別計画策定・推進において地域住民の主体性が顕著だった事例	[区]福祉保健課	B
				参考値	地区別支援チームによる「地区別計画への支援目標・取組内容」を取り決めたチームの割合 地区別計画策定・推進組織を設置している地区数 地区別計画策定地区数・地区別支援チーム数	[区]福祉保健課	
	1-1-2	個別支援と地域支援の連動を見据えた施策の展開と地域の様々な取組を有機的・重層的に機能させるためのネットワークづくり	6	量的	地域ケアプラザ(特養包括含む)あたりの地域福祉のネットワーク構築数	[局]地域ケアプラザ事業実績報告書 様式6	B
			7	量的	地域の見守りネットワーク構築支援事業の実施地区数	[局]福祉保健課	C
			8	質的	企業、事業所、施設等との協働により、有機的・重層的に機能したネットワークづくりの事例	[局]福祉保健課、市社協、[区]福祉保健課、区社協	C
				参考値	地区別支援チームによる「地区別計画への支援目標・取組内容」を取り決めたチーム数(再掲 柱1 No5)	[区]福祉保健課	
	1-1-3	現状分析を踏まえた重点的支援が必要な地域の焦点化と支援のあり方の明確化	9	質的	重点的な支援が必要な地域の共通項と効果的な支援策の検討状況	[局]福祉保健課	A
			10	質的	重点的な支援が必要な地域に向けた取組の状況	[区]福祉保健課	A
11			質的	重点的な支援が必要な地域における地域主体の取組の事例	[区]福祉保健課	B	
			参考値	地域ケアプラザ(特養包括含む)運営か所数(柱1 No12再掲)	[局]地域支援課		
1-1-4	地域福祉保健推進の環境整備	12	量的	地域ケアプラザ(特養包括含む)運営か所数	[局]地域支援課	A	

各取組の評価尺度一覧(柱2)

<評価の視点> A: 支援策の充実を評価する視点 B: 住民参画のプロセスを評価する視点 C: 関係機関・民間企業等との連携についての視点

取組内容			No	尺度		データの 出典	評価の視 点
計画期間で<26~30 年度>で目指す姿				量/質/参考値	尺度名称		
より多くの地域で、平常時でも災害時でも、支援が必要な人の存在に周囲の人々が気づき、速やかに的確な支援へつながる仕組みができています。	2-1-1	平常時における地域主体の見守り活動の充実や災害時要援護者支援の推進	1	量的	災害時要援護者支援の取組を実施している自治会・町内会数	[局]福祉保健課	A
			2	量的	ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業の取組地区数	[局]地域支援課	A
			3	質的	区域において、地域による見守りや災害時要援護者支援の推進を支援する取組の実施状況	[局]福祉保健課(災援担当)	A
			4	質的	見守りの充実に顕著な効果が認められる地域主体の取組の事例	[区]福祉保健課	B
	2-1-2	孤立防止や虐待防止等の啓発により過剰な個人情報保護を防ぎ、自ら積極的に助けを求め力をもつ市民を増やす・ちょっとした変化に自ら気づけつなげる市民を増やす	5	質的	孤立から生じるリスクに対する自助・共助・公助の組み合わせによる具体的な取組(孤立死防止)	[局]福祉保健課	A・B・C
			6	質的	孤立から生じるリスクに対する自助・共助・公助の組み合わせによる具体的な取組(高齢者虐待防止・認知症対策)	[局]高齢在宅支援課	A・C
			7	質的	孤立から生じるリスクに対する自助・共助・公助の組み合わせによる具体的な取組(児童虐待防止)	[局]こども青少年局こども家庭課 [局]こども青少年局子育て支援課	A・B・C
	2-1-3	従来の取組では把握することが困難な対象層に対する、企業等との連携を介した地域における見守りの仕組みづくりへの支援	8	量的	気づきの目の拡大に協力する事業者数	[局]福祉保健課	C
			9	質的	従来の取組では把握することが困難な対象層に対する見守り活動の推進に向けた仕組み構築の検討状況	[局]福祉保健課	A
			10	質的	事業者の協力で、効果的に見守りが実施できた事例	[区]福祉保健課	B・C
2025年に想定される要介護高齢者の急増や少子化の進展等を意識し、個別課題を地域課題につなげ、身近な地域で生活課題を把握・調整・解決し、区域や市域の取組に反映させる仕組みが機能している。	2-2-1	個別支援が届かぬまま、様々な生活課題を抱えている人々の存在に気づき支え続ける仕組みづくり	11	質的	関係機関と行政等による、個別支援の課題を踏まえた地域支援の仕組みの取組状況	[区]福祉保健課	C
			12	質的	関係機関と行政等による、個別支援の課題を踏まえた地域支援の仕組みの取組状況	[局]福祉保健課	C
	2-2-2	地域の生活課題を把握・調整・解決する仕組みの充実と新たな取組の創出	13	量的	地域ケア会議の開催実績・地域自立支援協議会の開催実績	[局]高齢在宅支援課 [局]障害福祉課	A
			15	量的	要保護児童対策地域協議会の開催実績	[局]こども青少年局こども家庭課	A
			16	質的	地域ケア会議、地域自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会等から見出した各分野に共通する課題に対する、区としての資源開発、施策形成に関する検討状況	[区]福祉保健課	A
			17	質的	地域ケア会議、地域自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会等から見出した各分野に共通する課題に対する、市としての資源開発、施策形成に関する検討状況	[局]福祉保健課	A

取組内容		No	尺度		データの 出典	評価の視 点	
計画期間で<26～30 年度>で目指す姿			量/質/参考値	尺度名称			
2025年に想定される要介護高齢者の急増や少子化の進展等を意識し、個別課題を地域課題につなげ、身近な地域で生活課題を把握・調整・解決し、区域や市域の取組に反映させる仕組みが機能している。	2-2-3	健康寿命の延伸の視点を取り入れた健康づくり・保健活動の取組充実	18	量的	健康横浜21の目標値のモニタリング＝行動目標「定期的に運動する(指標NO.9)」、行動目標「歩く・外出する(指標NO.25)」	【局】保健事業課	A
			19	量及び質	健康づくり・保健活動の視点を重視した地域主体の取組数、実施内容	【区】福祉保健課	A・B
			21	量的	横浜ウォーキングポイント登録者数	【局】保健事業課 【局】企画課	A
			22	質的	保健活動推進員や食生活等改善推進員による主体的な取組で、地域住民の健康づくりに効果が認められる事例	【区】福祉保健課	B
			23	質的	企業との連携による取組で、市民の健康づくりに効果が認められる事例	【局】保健事業課	C
	2-2-4	保健・医療・福祉の専門職と地域活動者の連携による支援の充実	24	質的	地域主体の取組がより生きる環境整備に向けた、相談機関を対象とした地域との連携に関する啓発の実施状況	【局】福祉保健課	A
			25	量的	地域ケア会議の開催実績・地域自立支援協議会の開催実績(柱2 No13再掲)	【局】高齢在宅支援課 【局】障害福祉課	A
	2-2-5	地域ケアプラザがその機能と人材を生かすための環境づくり	26	質的	地域ケアプラザの質の向上に結び付く環境づくりに向けた新規・拡充の取組の状況	【局】地域支援課 【局】福祉保健課	A
	2-2-6	地域保健福祉人材の育成	27	量的	地域福祉コーディネーター養成研修の実施回数	【局】地域支援課 【局】福祉保健課	A
			28	量的	地域福祉コーディネーター養成研修の受講者数	【局】地域支援課 【局】福祉保健課	A
			29	質的	地域福祉コーディネーター養成研修実施内容及び取組状況	【局】地域支援課 【局】福祉保健課	C
			30	質的	福祉保健カレッジの取組の状況	【局】地域支援課	C
	2-2-7	民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくり	31	量的	民生委員の充足率(現員数÷定数)	【局】地域支援課	A
			32	質的	民生委員・児童委員が安心して活動できる環境づくりの実施状況	【局】地域支援課	A
	2-2-8	サービスの質を向上させる仕組み	33	質的	サービスの質を向上させる仕組みづくりの実施状況	【局】企画課	A
				参考値	福祉サービス第三者評価制度の実施数	【局】企画課	
				参考値	福祉サービス第三者評価制度の実施数	【局】こども青少年局 保育運営課	
	多様な権利擁護・成年後見等の仕組みづくりが推進され、高齢者や障害者が自分の力を生かしながら地域で安心した生活を送ることの大切さについての理解が広まっている。	2-3-1	身近な地域における権利擁護の推進	34	量的	あんしんセンター契約件数	【局】あんしんセンター報告書
35				量的	地域向けの普及啓発の実施数	【局】福祉保健課 【局】CP実績報告書	A
36				質的	成年後見サポートネットを充実させるための取組	【局】福祉保健課	B
				参考値	成年後見区長申立件数	【局】福祉保健課	
2-3-2		市民後見人の養成と活動支援	37	量的	市民後見人養成講座修了者及び受任件数	【局】福祉保健課	A
	38		質的	市民後見人による権利擁護の普及啓発活動など地域での活用について	【局】福祉保健課	B	

各取組の評価尺度一覧(柱3)

< 評価の視点 > A: 支援策の充実を評価する視点 B: 住民参画のプロセスを評価する視点 C: 関係機関・民間企業等との連携についての視点

取組内容			尺度		データの 出典	評価の 視点	
計画期間で<26～30 年度>で目指す姿		No	量/質/参考値	尺度名称			
あらゆる世代・あらゆる市民が つながりを意識し、 地域福祉保健に 関心をもつこと ができる取組が 増えている。	3-1-1	幅広い市民に向けた 地域福祉保健計画の PR	1	量的	計画に関するPR機会の数(広報よこは ま、講演会、地域行事等)	【局】福祉保健課・市社協 【区】区・区社協・CP	A
			2	質的	PRに関する特徴的な取組(対象者別 の啓発・PR方法について等)	【局】福祉保健課・市社協 【区】区・区社協・CP	A
			3	質的	対象層別の啓発・PR方法の仕組みづく り	【局】福祉保健課	A
	3-1-2	地域全体で地域の 一員として子育て世帯を 見守り・支える風土を つくる	4	量的	【局】子育て中の親子がいつでも利用で きる地域子育て支援の場の数(週3回 以上開設のもの)	【局】子ども青少年局子育て 支援課	A
			5	質的	地域子育て支援拠点を中心とした地域 人材育成の状況	【局】子ども青少年局子育て 支援課	A
			6	質的	地域全体で子育て世代を見守るための 施策の実施状況	【局】子ども青少年局子育て 支援課	A・B・ C
	3-1-3	文化・スポーツ・健康 づくり等をきっかけとし たつながりづくり	7	量的	地域活動への参加のきっかけとなる講 座の共催した開催回数	【区】区・区社協・CP	A
			8	質的	健康横浜21の目標値のモニタリング= 行動目標「定期的に運動する(指標 NO.9)」、行動目標「歩く・外出する (指標NO.25)」(再掲 柱2 No18)	【局】福祉保健課	A
			9	質的	関係機関等への普及啓発の実施状況	【局】福祉保健課	A・B・ C
				参考値	地域活動への参加率	市民意識調査(H14、 17、18、22実施有)	/
	3-1-4	次世代(小・中学生)を 対象としたつながりづ くり・地域理解の重要 性の啓発と地域への 愛着の醸成	10	量的	小中学校でのつながりづくり・地域理解 に関する啓発実施回数、実施学校数	要検討(教育委員会、社 協、区など)	A
			11	質的	仕組みづくりの取組状況、新たな視点 の取組	【局】福祉保健課、市社協	A
				参考値	市立小中学校数	【局】教育委員会教育 政策推進課	/
	3-1-5	子どもと地域のつなが りを深めるための学 校・子育て支援関係 機関との連携	12	量的	地域と学校が連携した取組の実施数	【区】福祉保健課	A
			13	質的	地域と学校が連携した新たな視点の取 組	【区】福祉保健課 教育委員会	A・B・ C
14			質的	子育て支援機関、小中学校と連携した 連続性・一貫性のある地域とのつなが りづくりの取組状況	【局】子ども青少年局子育て 支援課 【局】教育委員会教育政策推 進課	A・B・ C	
			参考値	学校・地域コーディネーターの配置校 数、人数	【局】教育委員会学校支 援・地域連携課	/	
3-1-6	各世代が抱える課題 に当事者である世代 自身が関心を高めて いく	15	質的	各世代が抱える課題に関する啓発や 関心を高める取組の実施状況	【局】福祉保健課、市社 協、こ青局 【区】福祉保健課	A・B・ C	

取組内容			No	尺度		データの 出典	評価の 視点
計画期間で<26～30 年度>で目指す姿				量/質/参考値	尺度名称		
高齢者、障害や病気になる人、在住外国人等を含む全ての人相互に交流し、支え合い、あらゆる分野の活動に参加することができることの大切さが理解されている。	3-2-1	ソフトとハードが一体となった「福祉のまちづくり」	16	質的	福祉のまちづくりの取組の実施状況	【局】福祉保健課	A
			17	質的	福祉教育の取組の実施状況	社協、【局】福祉保健課	B
			参考値		福祉のまちづくりフォーラム（外部向けイベント）の実施回数	【局】福祉保健課	
					福祉のまちづくりに関する協議回数	【局】福祉保健課	
		駅舎のバリアフリー導入率		【局】福祉保健課			
	3-2-2	多様性の理解の普及啓発と当事者の社会参加の促進	18	質的	普及・啓発の特筆すべき取組の実施状況 (障害、病気、国籍、年齢、性別、自殺対策etc...)	局関係局課/区	A
			19	質的	社会参加の促進に関する新たな取組	【局】障害部 【局】保護課 【局】こども局	A
			20	質的	公共交通機関等既存の移動サービス以外で展開している移動支援の取組の実施状況	【局】障害部 【局】高齢在宅支援課 【局】福祉保健課	C
			21	質的	中間的就労の場の確保等に向けた取組の実施状況	【局】保護課・市社協	A
			参考値		社会参加の促進に関する調査の結果 (障害者プランの結果等)	【局】障害企画課 (障害者プランの結果等)	
				困難を抱える若者を対象とした社会参加・就労プログラムの年間延べ利用者数	【局】こども局青少年育成課		
		移動情報センター相談件数、コーディネート件数	【局】障害福祉課				

取組内容			No	尺度		データの 出典	評価の 視点
計画期間で<26～30 年度>で目指す姿				量/質/参考値	尺度名称		
高齢者の意欲と能力が発揮される「場」と「出番」づくりの取組が進み、地域福祉保健活動への参加が広がっている。	3-3-1	高齢者の幅広い参加を促すための取組の推進	21	質的	老人クラブの活性化へのための新たな取組	【局】高齢健康福祉課	B
			22	質的	高齢者による活性化のための新たな取組の検討状況	区	B
				参考値	元気づくりSTのグループ数	【局】高齢在宅	
		参考値	地域活動の参加率（老福センターにおける高齢者の社会活動に対するコーディネート件数）	【局】高齢健康福祉課			
	3-3-2	高齢者の意欲と能力が発揮できる新たな場と出番づくりによる地域活動の活性化	23	質的	高齢者が活動・活躍できる新たな活動の機会や場の実施状況	市社協 【局】福祉保健課	B
		24	質的	老人福祉センターの新たな取組の検討・推進状況	【局】高齢健康福祉課	B	
社会福祉施設、企業・商店、NPO等との協働による取組が進んでいくとともに、地域福祉保健活動の継続に役立つ手法が浸透している。	3-4-1	地域で取り組む福祉保健活動の推進	25	質的	地域福祉保健活動推進のための新たな手法や仕組みづくりの検討状況	【局】福祉保健課、市社協	B
			26	質的	地域福祉保健活動の担い手育成の取組状況	【区】区	A
				参考値	登録しているボランティア団体数	【局】区社協 ケアプラザ実績報告	
		参考値	ボランティアセンターの登録者数	市ボラセン・区ボラセン・ケアプラザ実績報告			
	3-4-2	活動資金、活動推進のための情報・ノウハウ等の提供を通じた活動の支援	27	質的	活動推進のための先進事例の共有状況について	【局】福祉保健課、社協	B
			28	質的	活動支援策の実施、新たな支援策の検討状況	【局】福祉保健課、社協	A
			29	質的	助成制度を通じて関わった団体への助成事務以外の支援の実施状況	社協	A
		参考値	ヨコハマ市民まち普請事業の事業実施団体数	【都市整備局】地域まちづくり課			
		参考値	市民活動推進ファンド（よこはま夢ファンド）登録団体数	【市民局】市民活動支援課			
		参考値	ふれあい助成金の団体数	市ボラセン・区ボラセン			
	3-4-3	企業とのパートナーシップによる課題解決に向けた取組の推進	30	質的	商店や支店が地元にある企業と連携した福祉保健活動の実施状況	区	C
			31	質的	地域の福祉保健課題と企業のニーズをつなぐ仕組みづくりの検討状況	【局】福祉保健課、社協	C
			32	質的	中間的就労の場の確保等に向けた取組の実施状況(柱3 No27 再掲)	【局】保護課	A
	3-4-4	ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの理解の促進と地域福祉保健活動との連携の推進	33	質的	ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの取組を進めていくための連携、検討等の実施状況	【局】福祉保健課、市社協	A
				参考値	ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス関係講座の開催回数	【市民局】市民活動支援課、【経済局】経営・創業支援課、社協	
	参考値	ソーシャルビジネス経営塾の参加事業者数	【経済局】経営・創業支援課				
3-4-5	地域の福祉施設と協働した地域福祉保健活動の推進	34	量的	地域と福祉施設が連携した取組の実施状況	区、社協	A	
		35	質的	地域と福祉施設が連携している従来よりも工夫された取組の実施状況	区、社協	B・C	
			参考値	地域の福祉施設と協働した活動が進むための仕組みづくりの検討状況	【局】福祉保健課、市社協		

取組内容			No	尺度		データの 出典	評価の 視点
計画期間で<26～30 年度>で目指す姿				量/質/参考値	尺度名称		
社会福祉施設、 企業・商店、 NPO等との協働 による取組が進 んでいくととも に、地域福祉保 健活動の継続に 役立つ手法が浸 透している。	3-4-6	NPO法人等と地縁組 織との連携による地 域福祉保健活動の推 進	36	質的	NPO法人、テーマ型活動団体等を対象 とした地縁組織との連携推進のための 取組の実施状況	【市民局】市民活動支援 課	A
			37	質的	NPO法人、テーマ型活動団体等と地縁 組織が連携して行っている活動の実施 状況	区、社協	C
			38	質的	NPOと地縁組織の連携促進を図る取組 の検討状況	【局】福祉保健課、市社協	B
地域福祉保健活 動の推進に重要 な資源と人材が 効率的・効果的 に機能している。	3-5-1	担い手育成や幅広い 市民参加に向けた地域 福祉保健の取組を 広げるための地域に 関わる様々な公的機 関の連携促進	39	量的	地域施設間の連携促進の取組を実施 した区の数	【区】福祉保健課	A
			40	質的	地域施設間の連携促進の取組の実施 状況	【区】福祉保健課	A・B・ C
			41	質的	地域施設間での関係づくりに向けた関 係局区との取組状況	【局】福祉保健課	A・C
	3-5-2	地域の交流の場や機 会づくり推進に向けた 地域資源活用方法の 検討	42	質的	新たな地域拠点の設置に関する地域 資源の活用状況	【区】福祉保健課、区社協	A・C
			43	質的	場の確保の仕組みづくりの検討状況	【局】福祉保健課	A・B
			44	質的	場の確保の仕組みづくりの検討状況 (関係機関や民間企業等と連携できた か)	【局】福祉保健課	C
				参考値	市・区・社協の支援により設置され た地域拠点の数	【区】福祉保健課、区 社協	

〈手順〉 3つの推進の柱の下に位置付けられた合計35の取組に対して、
 「取組状況を確認するための3つの視点」を考慮しながら、推進状況の経年変化を隔年で捉える。

参考資料

各取組の推進状況について(案)(柱1部分) < 記載例 >

取組内容		評価の視点	尺度	年次推移			
1-1 地域課題の解決に向けた支援の拡充(地区別計画及び地区計画の策定・推進)				平成25年末データ(計画策定時点)	平成27年度末データ(中間評価時点)	平成29年度(最終評価時点)	
1-1-1	区役所・区社協・地域ケアプラザによる地域支援の体制づくりと支援目標の明確化	A(タスクゴール)	量的	【区】地区別計画策定・推進組織の設置率	【区】82% (206地区)	【区】93% (220地区)	
			質的	【区】地区別支援チームの活動を下支えする取組の実施状況	【区】各区で地区別支援チーム向けに研修を実施。(例:郷土の歴史を学ぶ、地域との接し方研修など)地区別支援チームが、より地域に入りやすくなるようなきっかけづくりを実施した。	【区】地区支援チーム向けへの研修実施や、区ごとのマニュアルを作成。マニュアルを作成することで、地区支援チームの底上げを行うことができた。	
		B(プロセスゴール)	量的	【区】地区別計画策定・推進のための地区との話し合いの回数	【区】1,070回	【区】1,400回	
			質的				
C(パートナーシップゴール)	量的						
			参考値	地区別計画数	235地区	235地区	
1-1-2	個別支援と地域支援の連動を見据えた施策の展開と地域の様々な取組を有機的・重層的に機能させるためのネットワークづくり	A(タスクゴール)	量的				
			質的	【市】市域等におけるテーマ型活動への支援状況	テーマ型活動を実施している、状況の確認を行った。	団体や、会に話し合いを実施し、市域で支援方法について調整を行った。具体的な活動方法について検討できた。テーマ別活動の支援に関し、関係局課と検討会を行った。	
		B(プロセスゴール)	量的	【CP】地域福祉のネットワーク構築数	【CP】464か所	【CP】550か所	
			質的				
C(パートナーシップゴール)	量的						
			質的	【区】有機的・重層的に機能したネットワークづくりの事例とその背景	地域ケア会議と、区のその他の会議(認知症徘徊高齢者支援会議、虐待防止検討会、成年後見サポートネット等)を連動させる動きが出てきている。(5区)	高齢・障害等の枠を超えて、権利擁護等の共通の議題について、地域ケア会議や自立支援協議会でた課題を持ち寄り成年後見サポートネットで検討する動きが出てきている。また、サポートネットでの課題を地域ケア会議等で検討する相互作用の動きが出てきている。(7区)	
1-1-3	現状分析を踏まえた重点的支援が必要な地域の焦点化と支援のあり方の明確化	A(タスクゴール)	量的				
			質的	【市】重点的な支援が必要な地域の共通項と効果的な支援策の検討状況 【区】重点的な支援が必要な地域に向けた取組の状況	【市】地域の見守り推進事業の調査として、地域の分析を実施。地域を4つの分類に分け区やCPなどの今後の支援の参考になった。 【区】今後、重点的な支援が必要な地域に向けて、必要な取組を実施していく予定	【市】重点的な支援が必要な地域の共通項を踏まえ、各地区の状況ごとの支援メニューについて、提案した。 【区】区が支援が必要な地域に対し、見守り推進事業や、交流拠点モデル事業などを、提案できるようになりはじめている。	
		B(プロセスゴール)	量的				
			質的				
C(パートナーシップゴール)	量的	【市】地域の見守りネットワーク構築支援事業の実施地区数	【市】5か所	【市】10か所			
			質的				
1-1-4	地域福祉保健推進の環境整備	A(タスクゴール)	量的	【局】地域ケアプラザの整備・運営数	【局】130か所	【局】133か所	
			質的				
		B(プロセスゴール)	量的				
			質的	【区】出張相談等、各地区の状況に応じた対応の状況	【区】区・包括から依頼をし、老人会、民児協、地域の集まりで出張相談等を実施している。	【区】地域から声をかけてもらい、老人会、民児協、地域の集まりで地域のニーズに応じた出張相談等を実施している。	
C(パートナーシップゴール)	量的						
			質的				

各取組のA～Cの視点ごとに量的・質的データについて「計画期間で<26～30年度>で目指す姿を踏まえて、各取組を測れる尺度を設定します。

各取組の推進状況を測るため尺度に基づき取組状況を確認します。

平成25年末データ、平成27年末データは架空のものを仮置きしています。

【手順】 それぞれの推進の柱としての取組の成果を総合的に考察する。

柱1の推進状況<記載例>						
地域住民が主役となり地域課題に取り組むための基盤を作る						
重点取組	計画期間で<26～30年度>で目指す姿	評価の視点	尺度	内容	柱1の推進状況	
					まとめ	
1-1	<p>各区の創意工夫による区計画策定・推進のこれまでの実践を踏まえ、地域支援のあり方が整理され、より充実した取組が行われている。</p> <p>地域主体の取組の立ち上げ・維持・発展とそれらのネットワーク化を図る仕組みにより、地域課題が徐々に解決されている。</p>	<p>A</p> <p>支援策の充実を評価する視点 (タスクゴール)</p>	<p>[区] 地区別計画策定・推進組織の設置率 [区] 地区別支援チームの活動を下支える取組の実施状況 [市] 市域等におけるテーマ型活動への支援状況 [市] 重点的な支援が必要な地域の共通項と効果的な支援策の検討状況 [区] 重点的な支援が必要な地域に向けた取組の状況 [局] 地域ケアプラザの整備・運営数</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別計画の策定・推進組織の設置率が25年から27年にかけて、82%～93%へ増加。また、各地区の活動を支援するための取組として、区ごとに、研修や区ごとの状況に応じたマニュアルの作成などの取組が進んだ。地域住民と地域課題に取り組む体制の構築が進み、地域課題の解決するための土台づくりが進んでいる ・25年度に支援が必要な地域についての調査を実施し、対象地区が把握された。その結果に基づき、各地区で支援策の検討が始まり、一部の地域で支援が取組が始まった。 	<p>各区で地域支援の手法が整理され、地域課題に対する充実した取組や体制構築が進んだ。</p>	
				<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別計画の策定・推進組織の設置率は増加しているが、地域と課題に取り組む体制の整備が必要。 ・区ごとに研修や区状況に応じたマニュアルの作成が進んでいるが、内容にばらつきがある。今後、各区の研修状況やマニュアルの作成状況を共有する機会や、各区の創意工夫に基づく取組が広がる支援が必要。 		<p>分野別のネットワーク会議等が有機的に連携しはじめ、課題解決に向けた取組の検討が始まっている。</p>
		<p>B</p> <p>住民参画のプロセスを評価する視点 (プロセスゴール)</p>	<p>[区] 地区別計画策定・推進のための地区との話し合いの回数 [C/P] 地域福祉のネットワーク構築数 [局] 出張相談等、各地区の状況に応じた対応の状況</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別計画の策定推進のための話し合いが、区計画、地区別計画の策定期間も重なりH25年からH27年で330件増加。住民参画のプロセスの場が増え、地域の課題について検討していくことが出来ている。 ・地域福祉のネットワーク構築数が、H25年の464か所からH27年の550か所に増加。地域と一緒に、地域課題に取り組む取組が進んでいる。 ・地域から声をかけてもらい、地域ケアプラザとして地域で出張相談等を実施することができた。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉のネットワーク構築数について、維持・発展できるように支援していく必要がある。 ・地域に対し地域ケアプラザで出張相談等、地域の実情にあわせて相談等対応できることをさらに地域に周知していく必要がある。 	
				<p>C</p> <p>関係機関・民間企業等との連携に向けた視点 (パートナーシップ)</p>		<p>[区] 有機的・重層的に機能したネットワークづくりの事例とその背景 [市] 地域の見守りネットワーク構築支援事業の実施地区数</p>
		<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な全地区に対して、関係機関等と連携し見守り活動など実施できているわけではない。より、関係機関と連携し地域の見守りネットワーク構築支援事業を推進していく必要がある。また、有機的・重層的なネットワークについて、理解を深め、事例等を市域で共有し、ネットワークづくりにより進むように調整を行っていく必要がある。 	<p>地域福祉のネットワークを維持・継続していけるよう支援をしていく必要がある。</p>			

A～Cの視点ごとの成果、課題を踏まえて、柱の推進状況のまとめと課題について記載し、柱の推進状況を確認します。

各柱の推進状況を確認するため、重点取組ごとに定めている「計画期間で<26～30年度>で目指す姿」にどれだけ近づけたかを確認します。

手順1の表で、各取組ごとに設定したA～Cの視点の尺度を、A～Cの視点ごとに整理し確認をします。

第3期横浜市地域福祉保健計画の推進に向けて ～平成26年度 横浜市・横浜市社会福祉協議会の取組～

第3期横浜市地域福祉保健計画に基づき、市と市社協の役割分担を明確化した上で、相互に補完し、連携・役割分担を行いながら、取組を推進していきます。

横浜市健康福祉局の取組

区役所へのアプローチを主軸とした区域の取組の推進支援と、関係局と連携した全市的な取組を行います。

■ 推進の柱1

(1) 第3期区計画の策定支援（柱1-1-1）

平成26～27年度に各区において行われる第3期区計画（地区別計画含む）の策定作業に対して、全区統一的な取組の方向性の提示、参考となる考え方や方法の情報提供、区同士による情報共有の機会づくり、策定に係る予算配付等の支援を行います。

(2) 重点的支援が必要な地区への支援（柱1-1-3）

地域での共助を支援していくため、「高齢化率が高い」「支援が必要な人が多い」等の支援が必要な地区を対象として、地域の見守りの取組に対し、活動費と拠点に要する費用の継続的な助成を行います。

■ 推進の柱2

(1) 支援につながらず孤立している高齢者等の把握、支援（柱2-1、柱2-2）

孤立して困難を抱えている高齢者等を把握し、必要な支援に結び付けるため、モデル地区で地域包括支援センター職員等が訪問して実態を把握し、今後の支援のあり方を検討します。

(2) 地域のつながりを健康づくりに生かす取組の充実（柱2-2-3）

ソーシャル・キャピタル（地域のつながりや人との関わり）が健康に欠かせないことをわかりやすく示す媒体を作成するとともに、市民に対して様々な社会参加やつながりづくりを働きかけ、市内で取り組まれている様々な事業等に健康の観点を加味し企画・実施してもらえるよう普及啓発活動を行います。7月から関係機関、関係区局から構成される検討会を実施し、より効果的な啓発用媒体の作成と普及方法について検討します。（～9月まで）

(3) 地域福祉保健人材の育成（柱2-2-5、柱2-2-6）

地域福祉保健人材の養成（区・区社協・地域ケアプラザなどの公的機関職員を対象とした地域福祉コーディネーター養成研修等）を効果的に進めるため、地域福祉保健人材の育成のあり方について方針を定めます（市社協と連携・協力）。

■ 推進の柱3

(1) 対象層を明確にした市民参加の働きかけに向けた検討（柱3-1、柱3-4）

子どもから高齢者まで、市民の多くが地域福祉保健活動に関心を持ち、地域全体で支えあい、つながりをつくるため、様々な世代に向けて、対象層に合った方法で取組への参加を働きかけます。また、その効果的な展開のため、学校、企業等と連携した取組を推進していきます。

(2) 高齢者の意欲と能力（シニアパワー）が発揮できる場と出番づくり（柱3-3-2）

高齢者が活躍する地域社会の実現に向けて、地域での短時間、短期間の就労や社会参加の充実を図るため、生きがい就労支援スポット（仮称）をモデル設置します。

また、地域活動の選択肢を増やし、高齢者が様々な地域活動に参加することにより地域とのつながりを築き、健康を維持できるような「場」や「機会」を創出するために、他都市等の先行事例調査を行い、都市型モデルの構築を行います。それを踏まえて、地域に根差した取組のモデル実施に向けた検討を行います。

横浜市社会福祉協議会の取組

区社協を介しながら、地区社協、学校、企業等とともに共助の層を厚くする全市的な取組を行います。

■ 推進の柱1

(1) 第3期区計画の策定支援（柱1-1-1）

第3期区計画（地区別計画含む）の策定作業について、区社協職員研修や計画担当者会議等を実施し、「市計画で掲げた方向性の共有」「区・区社協・地域ケアプラザ協働による計画策定プロセスで必要とされる情報やノウハウの提供」など、区社協を通じた区域の公的機関職員への支援を行います。

地区社協に対し、地域における福祉活動の協議体としての機能を明らかにするための指針を示し、地区別計画の推進主体としても機能できるような組織となっていくことを目指します。

■ 推進の柱2

(1) 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業（柱2-2-1）

制度の狭間で支援に結びついていない人や孤立しがちな人など、様々な生活課題を抱えながらも潜在化しやすい人々を、深刻な状況になる前に発見し見守り支えあえる地域づくりを、地域住民と区社協・地域ケアプラザ・行政が連携して進められるよう支援します。

(2) 権利擁護の取組（権利擁護事業、市民後見人養成・活動支援事業、法人後見事業）（柱2-3）

地域における権利擁護の担い手の新たな育成を進めるほか、事業を通じて把握した個別ニーズを地域福祉活動につなげるなど権利擁護を総合的に推進します。

第1期（平成24～25年度）のモデル3区における市民後見人養成課程修了者に対して、受任に向けた調整や活動を支えていくための支援を進めるとともに、18区全体での養成に取り組みます。

■ 推進の柱3

(1) 幅広い福祉教育（啓発）の実施（柱3-1-4、柱3-1-5、柱3-2-1）

福祉教育を学校や学生に対して実施するほか、広く地域の住民、機関・団体、企業等を対象に福祉啓発を実施できるよう、区ボランティアセンター等との協働により次のような取組を推進します。

- ・子どもと地域の人材とのつながりを意識した福祉教育（啓発）プログラムの開発
- ・地域住民を対象とした福祉啓発の取組の支援
- ・企業に向けた福祉啓発の実施

(2) 企業の地域貢献活動の充実に向けた支援（柱3-4-3、柱3-4-4）

社会（地域）への貢献活動に取り組む企業と、企業と協力して課題を解決することを希望する地域、団体をコーディネートします。また、これから地域貢献活動を始めようとしている企業、活動の幅を広げることを検討している企業を対象に、企業向けセミナーを開催します。

(3) 高齢者の意欲と能力（シニアパワー）が発揮できる場と出番づくり（柱3-3-2）

活力のある高齢者にさまざまな参加の機会を提供し、自己実現や地域の担い手として役割が果たせる仕組みをシルバー人材センター・老人クラブ連合会とともに検討し、試行実施します。

第3期横浜市地域福祉保健計画 策定報告実施団体等一覧

地域関係の会議等	
1	横浜市町内会連合会、各区連合町内会
2	横浜市民生委員児童委員協議会、各区民生委員児童委員協議会
3	横浜市保健活動推進員区会長会
4	横浜市食生活等改善推進員協議会理事会
関係団体等	
5	横浜市身体障害者団体連合会
6	横浜市心身障害児を守る会連盟
7	障害者地域作業所連絡会
8	機能強化型障害者地域活動ホーム連絡会
9	社会福祉法人型障害者地域活動ホーム連絡会
10	グループホーム連絡会
11	横浜市精神障害者家族連合会
12	横浜市精神障害者地域生活支援連合会
13	生活支援センター施設長会
14	地域子育て支援拠点連絡会
15	よこはま子育て一万人フォーラム
16	横浜市老人クラブ連合会
17	老人福祉センター所長会
18	横浜市立小学校長会
19	横浜市立中学校長会
20	横浜市立特別支援学校長会
21	地域ケアプラザ所長会
市社会福祉協議会 部会	
22	市社協・区社協部会（区社協会会長会）
23	区社協事務局長会
24	市社協・障害福祉部会
25	市社協・高齢福祉部会
26	市社協・保育福祉部会
27	市社協・更生保護部会
28	市社協・福祉団体部会（障害団体部会）
29	市社協・ボランティア部会
30	市社協・児童福祉部会
31	市社協・生活医療福祉部会
32	市社協・居宅事業所部会
33	市社協・横浜保育室部会
34	市社協・障害者支援センター運営委員会

※平成26年7月17日（木）現在で説明に向けて調整中の所も含む

区名	取組内容	26年度											27年度																																
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月																				
中区	策定・推進会議、策定・推進検討部会	第1回 (今年度の進め方、グループインタビューの実施等)					検討部会：随時					第2回 (計画策定の考え方、各地区ごとの策定方法等)					第1回 (区全域計画策定、地区別計画策定状況報告等)					検討部会：随時					第2回 (区全域・地区別計画素案)					第3回 (計画承認)													
	地区別懇談会・地区別計画策定推進会議	中間振り返り結果に基づいた活動を支援。定期的な会議の場の維持を支援。第3期計画策定の意識づけ。地区別計画の策定方法検討。					策定母体立ち上げ。各地区ごとの方法で意見集約し、地区別計画策定。											地区別計画(案)集約					区全域・地区別計画確定																						
	区計画策定推進												区全域計画(案)集約																																
	データ収集・課題分析	内容検討 団体へ協力依頼。		分野別グループインタビュー実施					結果分析 (必要に応じて、追加インタビュー) ・区全域計画検討。																																				
	区民意見の聴取・広報	通信発行		通信発行			通信発行			通信発行			通信発行			通信発行			通信発行			区全域・地区別計画(案)パブリックコメント			通信発行																				
	フォーラム・発表会												中なかいいネ！発表会																中なかいいネ！発表会																
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	転入者向け 中なかいいネ！研修		地域支援担当向け実務研修					振り返り・次年度検討					転入者向け 中なかいいネ！研修		地域支援担当向け実務研修					振り返り・次年度検討																								
	力を入れる取組等																																												
南区	策定・推進検討会	委員の検討											委員依頼											委員会開催																					
	地区別懇談会・地区別計画策定推進	意見交換会実施方法の検討											意見交換会実施に向けた調整											16地区での意見交換 (振り返り会議)					地区別計画検討					ふれあい懇談会 (16地区)											
	区計画策定推進	関係者ヒアリング、アンケート項目の検討		関係者ヒアリング(テーマ別部会)・対象事業所選定、アンケート用紙印刷			関係者アンケート			意見取りまとめ及び課題抽出					計画の柱確定											計画原案作成					計画確定														
	区民意見の聴取・広報	区民アンケート内容検討		対象者抽出・アンケート用紙等印刷			区民アンケート			意見取りまとめ及び課題抽出					区連会説明					民児協説明 区民意見募集																									
	データ収集・課題分析			業者委託			データ収集			課題分析					報告書																														
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	研修実施													研修実施																														
港南区	地域福祉保健計画推進協議会	●推進協議会											●推進協議会											●推進協議会											●推進協議会										
	地区別懇談会・地区別計画策定推進	第2期振り返り・課題抽出 第3期計画策定の企画					●地区別計画推進研究会											地区別計画の検討、意見交換会等における議論、計画確定											計画完成																
	区計画策定推進	区計画の検討											区計画原案とりまとめ											区計画 区民意見募集					区民意見、地区別計画での議論反映、とりまとめ																
	データ収集・課題分析	ヒアリング等調査企画、統計データの収集・整理					ヒアリング等調査実施					ヒアリング等意見反映																																	
	区民意見の聴取・広報	●計画推進ニュース発行											●計画推進ニュース発行					●計画推進ニュース発行					●計画推進ニュース発行					●計画推進ニュース発行																	
	フォーラム・発表会												●元気な地域づくり推進フォーラム																						●元気な地域づくり推進フォーラム										
	港南区地域支援合同研修(区、社協、ケアプラザ職員等)	●合同オリエンテーション					●合同研修(9/3, 9)					●合同オリエンテーション																																	
	力を入れる取組等	計画策定のための企画		策定作業の本格開始 地区別計画策定プロセスの確定			地区別計画策定の本格開始			区民・関係団体等意見反映					区計画原案とりまとめ 地区別意見交換会等の企画					地区別意見交換会等の実施					地区別意見交換会等の実施 計画とりまとめ					第3期計画素案の最終確認															

区名	取組内容	26年度											27年度																		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月						
保土ヶ谷区	策定・推進会議	全体会①			策定部会(3部会×年3回程度)			全体会②			全体会③(区全域計画骨子決定)			全体会④			全体会⑤			全体会⑥											
	地区懇談会・地区別計画策定推進	地区別推進助成			地区懇談会(計画策定も含む)・取組支援(随時)			地区情報シート更新			地区別計画策定			地区別推進助成			各部会素案決定			地区情報シート更新											
	区全域計画策定推進	庁内策定ワーキング(月1回)			リーダー会議①(年6回)			リーダー会議②			区計画振り返り・分析			リーダー会議④			エリア情報交換会②			素案確定、意見募集			計画確定								
	データ収集・課題分析				関係者インタビュー			区民意識調査			まとめ																				
	区民意見の聴取・広報				トークほどこがや(ワールドカフェ)			広報区版チームレポート連載(26年7月～28年3月)									広報区版特集														
	活動発表会										活動発表会(社会福祉大会)												発表会								
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	新任リーダー研修会			新任メンバー研修会			支援チーム研修						新任リーダー支援チーム異動者研修			研修			支援チーム研修											
	力を入れる取組等							地区社協						地区社協																	
旭区	策定・推進検討会	第1回推進会議			検討部会①			第2回推進会議、検討部会②			検討部会③			検討部会④			第1回推進会議			第2回推進会議			第3回推進会議								
	地区別懇談会・地区別計画策定推進				地区策定委員会			地区策定委員会			地区策定委員会			地区策定委員会																	
	区計画策定推進				団体ヒアリング 庁内調整			団体ヒアリング 庁内調整																							
	データ収集・課題分析				区民意識調査			振り返り・課題抽出用データの取り出し			地区カルテ用データ抽出																				
	区民意見の聴取・広報	特集号			きらっとニュース(庁内情報紙)			区民意識調査			区民まつり			きらっとニュース(庁内情報紙)			特集号			区民まつり			パブリックコメント			特集号					
	フォーラム・発表会										福祉大会												福祉大会								
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	新任研修 全員研修			リーダー連絡会			地区連絡会・全員研修			リーダー連絡会			地区連絡会			リーダー連絡会			地区連絡会			新任研修 全員研修			リーダー連絡会			リーダー連絡会		
	力を入れる取組等	コンサル委託契約			団体ヒアリング												地区連絡会			地区連絡会											
磯子区	策定・推進検討会				第1回						第2回						第3回						第4回								
	検討部会							第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回								
	区計画策定推進				庁内プロジェクトによる検討			庁内プロジェクトによる検討			庁内プロジェクトによる検討			庁内プロジェクトによる検討			庁内プロジェクトによる検討			計画確定											
	地区別懇談会・地区別計画策定推進				地区別ヒアリング(第2期計画の振り返り)			【各地区】地区別計画(案)の検討			【各地区】地区別計画(案)の検討			【各地区】地区別計画(案)の検討			【各地区】地区別計画(案)の検討			【各地区】地区別計画(案)の検討											
	データ収集・課題分析				グループインタビュー																										
	区民意見の聴取・広報																区民意見募集														

区名	取組内容	26年度												27年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
栄区	会議 推進会議 (策定・推進検討会)	①7/17 年間予定、区民アンケート、 活動者個人意識調査ト結果報												②11/27 部会検討内容報告、 地区状況報告											
	推進部会 (作業部会)	①9/4 2期振り返り												③12/19 取組内容 検討											
	区計画策定推進	第3期計画素案骨子作成												素案骨子(案)完成											
	データ収集・課題分析	各種アンケートの分析・ まとめ ・区民アンケート ・活動者個人意識調査 ・活動団体取組内容 アンケート												区域計画振り返りからの課題抽出											
	地区別計画策定推進	第1ステップ ~2期振り返り~												第2ステップ ~3期に向けた課題抽出~											
	地区別計画策定推進	第3ステップ ~3期取組み内容検討~												第4ステップ ~地域住民への説明・合意											
	区民意見の聴取・広報	計画策定広報 5月: 広よこ区版												計画策定広報 9月: 広よこ区版											
	力を入れる取組等	地区支援チームの体制強化(リーダー・サブリーダー会議の開催)												地区支援チーム会議の定例開催											
職員(区社協・CP含む)向け研修													研修												
泉区	区計画(2期振り返り)	区計画振り返り												区振り返り(案)作成											
	区計画(3期策定)	区計画骨子策定検討												区骨子(案)作成											
	地区別計画(2期振り返り・3期策定)	地区別計画2期振り返り・3期策定												地区別計画2期振り返り・3期(案)策定											
	泉区地域福祉保健計画推進協議会	開催①												開催②											
	3期計画策定分科会(推進協議会分科会)	委員選定												分科会の開催											
	12地区での意見交換会	意見交換会												意見交換会											
	区民意識調査(とりまとめは区政推進課)	質問項目作成												調査 素集計											
	推進イベント													広報2月号特集 推進イベント 活動発表会											
	地域支援チーム連絡会(区・区社協・ケアプラザ)	連絡会①												連絡会②											
	地域支援チーム向け研修													研修											
瀬谷区	全域計画策定・推進(策定懇談会・推進懇談会)	推進懇談会												策定懇談会(第1回)											
	地区別計画策定(指針検討部会)													指針部会(第1回)											
	地区別計画推進(懇談会・研修会)	研修会												懇談会											
	データ収集・課題分析													団体ヒアリング											
	区民意見の聴取・広報													広報(シンポジウム)											
	地域福祉保健計画推進シンポジウム													シンポジウム(取組発表)											
	職員(区社協・CPも含む)向け研修	地区支援担当者等全体研修												地区支援担当者等全体研修											